
リチュアとガスタと氷結界と

美平

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リチュアとガスタと氷結界と

【Nコード】

N0224W

【作者名】

美平

【あらすじ】

高校二年の『蒼月 遊威』はデュエルが好きな普通の学生。ただひとと違うところは『昔からカードの精霊が見える』ことだ。三年前には精霊界も救った。そんな彼のもとに助けを求めに新しい精霊が来た。そして再び精霊界を救うために闇のゲームをしたり楽しく遊んだりライバル達と熱いデュエルを繰り広げる。（日常が多めなのでそんなに頻繁にデュエルの描写がありません）

始まり

遊威（俺は蒼月 遊威、高校2年生だ。）

双麻「俺の先行、ドロー！」

遊威（高校は至って普通の学校。生徒も、超能力が使えるわけでも、人間じゃない別の種族がいるってわけでも、全員武器を持って毎日戦争のような有様ってわけでもない。）

双麻「俺は魔法カード発動『魔導書整理』」

遊威（俺も普通の高校生だ。ただ一つを除けば……）

双麻「いよっし！次のターンで俺の勝ちだぜ！」

遊威（俺は昔からデュエルモンスターの精霊が見える。それに『見える』じゃなく『話せる』、最終的に『行ける』ようになった。）

双麻「エンドフェイズだ！」

遊威（なもんだから3年前にデュエルモンスターズ界救ったことがある）

双麻「遊威、お前のターンだぞ？」

遊威「ん？ああ。ドロー」

遊威（いけね、今双麻とデュエルしてたんだっけ）

双麻「次のターン俺が勝つ！」

遊威（こいつは草松 双麻。俺の友達。戦略という言葉が全く似合わないが、ひきの良さはチート並だ。恐らくこのまま終われば、次のターンで1キルされる）

遊威「そうかよ」

遊威（さて、あいつのフィールドは）

双麻

LP 4000

場 なし

遊威「がら空きかよ」

双麻「次のターンで1キルだ！」

遊威「はいはい。俺は手札から『邪神アバター』『ユベル』『幻魔皇ラビエル』を墓地に送って『モンタージュドラゴン』を召喚」

モンタージュドラゴン

ATK 9000

DEF 9000

双麻「何だと!？」

遊威「モンタージュドラゴンで直接攻撃」

双麻「ふっ、ならば速攻魔法発動『収縮』だ!これでモンタージュの攻撃力は…」

モンタージュドラゴン

ATK 4500

遊威「4500。俺の勝ちだ」

双麻「ヌワァァ！」

双麻
LP 0

勝者 遊威

遊威「これで俺の243勝3敗だ」

双麻「数えるなよ！」

遊威「3回も負けたからな」

双麻「そこにこだわるな」

遊威「一応小、中と無敗だったからな。全国大会でも優勝したし、世界は行くのが面倒だから予選を勝って棄権した」

遊威（精霊界では魔轟神 レヴュ・ア・タンにも勝ったけど）

双麻「馬鹿なのか、お前は？」

遊威「お前に馬鹿と言われる日がくるとは」

双麻「まあいいけど。そういえばユーイ、お前DMGP出るのか？」

遊威「DMGP？」

双麻「知らないのか？『デュエル（D）モンスターズ（M）グランプリ（G）inパロット（P）』」

遊威「『パロット』って、俺達の行き着けのカードショップだろ？
そこの大会か？」

双麻「そうだ。俺は出場するぞ！何でも優勝賞品はみたこともない
ようなカード何だと！」

遊威「見たことないって、『シンクロ』じゃねえの？はたまた俺の
好きな『融合』や『儀式』だったり」

双麻「まあ何にせよ出場する価値はあるぞ」

遊威「気がむいたらな」

――

俺はさっきまで双麻とデュエルしていた公園を後にして、借りてるアパートに帰って来た。デュエルディスクの普及と完成度は嬉しいが、かさ張るのが難点だ

ギイ、ギイ

うお、階段が軋んでる。部屋の中は綺麗でマンションと変わらないんだけどなあ

ギイ、ギイ

はあ、また一人寂しく『ただいま!』か。可愛い女の子が出迎えてくれたりしないかなあ。例えば『……

ガン!

遊威「馬鹿言うな……。」

自分の想像に腹が立つ……

ガチャ

遊威「ただいま」

？「お帰りのさいご主人様」

？「お帰り主様」

遊威「え？」

こんにちは 1

遊威（状況を整理しよう。俺はアパートに帰って来た。扉を開けた。今日の前には誰がいる？）

？「突然お邪魔してごめんなさい」

？「私達、お願いがあって来たのです」

遊威「えっと…『リチュア・エリアル』と『ガスタの巫女 ウィンダ』だよね？」

エリアル「あつ、自己紹介まだでしたけど私達のこと知ってるんですね」

ウィンダ「すごいです主様」

遊威（うん、まあそれはデュエタやって二人のカードが手に入ってから『リチュア』デッキと『ガスタ』デッキを創った程だからね）

遊威「それもそうだけど、お願いって何？」

遊威（あははっ、的なイベント発生かな？）

エリアル「えっと、簡単に言うと精霊界（私達の世界）を助けて下さい」

遊威（そんなことだろうと思ったさ。泣いてなんかないやい）

ウィンダ「私達はそのままではいけないと思い、この世界に助けを求めに来たのです」

エリアル「なので、私達と契約をして下さい」

遊威（!?!?）

遊威「け、契約？」

ウィンダ「契約をして私達のマスターになって下さい」

エリアル「お願いします」

遊威「それは構わないけど、君達は『魔法使い族』だから契約って……」

ウィンダ「あれ？知ってるんですか？」

遊威（それは前にも契約したことがあるからね）

遊威「『マスターとなる人間の魔力を取り込む事』、で『一般的には血取り入れる』。あってるよね？」

エリアル「すごい、あってますよ」

遊威「じゃ、早速契約しようか」

ウィンダ「精霊界の事とかは？」

遊威「契約してから聞くよ」

遊威（えーっと、『あれ』はどこだっけ。ああ、あったあった）

タンスの一番左の真ん中に入っていた氷のナイフを取り出す

エリアル「綺麗なナイフですね」

ウィンダ「宝石みたいです」

遊威「前に契約した時に使ったナイフだよ」

ツウー

右の人差し指の先を切った

遊威「どっちから契約する？」

ウィンダ「エリアルちゃんからでいいよ」

エリアル「ウィンダちゃんこそ先で…」

ウィンダ「いいからいいから♪」

エリアル「……それじゃお願いします」

遊威「それじゃあ少し上向いて」

エリアル「はい」

右の人差し指をエリアルの口元にもっていく

遊威（ちよつと深く切りすぎたかな？ やたら鼓動が早い）

エリアル「……ん」

遊威（上から血を垂らす。ただそれだけだぞ俺？ 何を興奮している）

その間に左の人差し指の先を切る

遊威「契約完了」

エリアル「ありがとうございます、ご主人様」

遊威（さっきもそう呼んでたな。『ご主人様』か……うん、落ち着

こう)

遊威「次はウインダの番だよ」

こんにちは 2

ウィンダ「はいっ♪」

遊威「それじゃあ上…」

かぷっ

遊威「はいっ？」

エリアル「／／／！？」

ウィンダが遊威の左手の人差し指を口に含んだ

ウィンダ「あるひはま、ひよへえひえいやふ（主様、これで契約完了ですね？）」

遊威「え？あ、うん……」

エリアル「……／／／」

ウィンダ「あれ？ エリアルちゃん、顔真っ赤ですよ？」

エリアル「ちよっ、ウィンダちゃん！ 何してるの！？」

ウィンダ「何って、契約ですよ？」

エリアル「え／／！？ あ、そ、そうだね……／／／

遊威（／／／……確かにいきなりで驚いた）

遊威「と、ところで、今精霊界で何が起きてるの？」

エリアル「そ、そうでした。まだ説明してませんでしたね」

ウィンダ「そうだったっけ？」

エリアル「まだ話してなかったよ」

遊威「俺の知る限りでは特に脅威となるようなことはないと思ったけど」

エリアル「実は……時空を越えて『インヴェルズ』と『魔轟神』が手を組んで暴れ回ったんです」

遊威「……あいつらが」

ウィンダ「そのせいで他の種族間でも問題が起こってしまい、私達の世界がめちゃくちゃになったの」

エリアル「ですから、今は種族同士の連携も取れずにいる為、侵略が進んでいるんです」

遊威「『種族』か……。ちなみにその種族って？」

エリアル「私の所属している『リチュア』とウィンダちゃんの所属している『ガスタ』、あとは『ジェムナイト』・『ラヴァル』・『ヴァイロン』と……」

ウィンダ「『霧の谷』・『フレムベル』・『ジュラシック』・『ジエネクス』・『ナチュル』・『ドラグニティー』・『AOJ』・『Xーセイバー』です」

遊威（！？）

遊威「『ワーム』は？」

遊威（俺が聞きたいのはそっちじゃないけど）

ウィンダ「『ワーム』さん達は何匹かの生き残りは『魔轟神』さん達に従ってます」

遊威「…………じゃあ、『氷結界』は？」

エリアル「…………『氷結界』は最後まで他の種族達と同盟を結ぼうとしていたのですが、今は結界の中に閉じこもっています」

あいつら……
遊威

ウィンダ「『氷結界』に知り合いでも居るんです？」

遊威「うん、ちょっとね。それで、俺は何をすれば？」

エリアル「『魔轟神』と『インヴェルズ』の同盟、『侵略魔轟』を倒してもらいたいのですが、『侵略魔轟』はこっちの世界に魔力エ

ナジーを集めて来ているんです。だから、こつちの世界で『侵略魔轟』のエナジー吸収を防いでもらえればいいんです」

ウィンダ「でも、『侵略魔轟』以外にもエナジーを集めているひと達もいるんですよ」

こんにちは 3

遊威「他にも？」

ウィンダ「例えば、『闇の支配者』とか『三幻…』」

エリアル「！！そうだ、ウィンダちゃん！確か私達……」

ウィンダ「！そうだよ！」

遊威「どうしたの、ふたりとも？」

エリアル「とにかく早く逃げな…」

？「ふふふ、やっと見付けたぞ」

ウィンダ・エリアル「！！」

遊威「？」

空間が歪み、中から何者かが出て来る

エリアル「……『三幻魔』の殉教者」

遊威「殉教者？ああ、あいつか」

ウィンダ「私達、こっちの世界にくる途中で見つかったんだっけ」

殉教者「そうだ。我が『三幻魔』様の殉教者。我が主を復活させる為、お前らのエナジーを頂く」

エリアル「……どうする、ウィンダちゃん？」

ウィンダ「デュエルするしかなさそうですけど……」

殉教者「ほほう？潔いな。ならば、我が主のイケニエとなるがよい！！」

遊威「待った。そのデュエル、俺が受けてもいいよな？」

エリアル「え？」

ウィンダ「主様？」

殉教者「何だお前は？」

遊威「ふたりのマスターだよ。だから、俺が受けてたってやる」

殉教者「ふふふ、面白い。我以外はその小娘を見付けてないからな。エナジーを独り占めできるわい」

遊威（ほう！）

遊威「それで、どうするんだ？」

殉教者「いいだろう。ただし、負けたらお前のエナジーも頂くがな」

遊威「構わないよ」

殉教者「なら始めようか……『闇のゲーム』を！！」

突然空間が黒い膜に覆われる

エリアル「気をつけて下さい！」

ウィンダ「『闇のゲーム』です！」

遊威「大丈夫だよ。安心して観てて」

こんにちは 3（後書き）

エリアル「それでは、今回の最強カードの紹介をします」

ウィンダ「でも、今回はデュエルしていないから前回の最強カードです」

『モンタージユドラゴン』

遊威「手札のモンスターカード三枚を墓地に送ってそのモンスターのレベル×300の攻守になるカードだ。ハイビートデッキや特殊召喚でのみ召喚できるようなカードを多用するデッキと相性が良いな」

エリアル「……………」

遊威「どうした？ エリアル」

エリアル「いえ…………ご主人様がモンタージユドラゴンのコストで墓地に送ったカードも、十分に最強カードの候補ですよね？」

ウィンダ「『ユベル』に『ラビエル』に『アバター』、一見ラスボ

スのデッキかと思う程です」

遊威「たしかにそうだけど、普通そのカードを同じデッキには入れないよな？ 作者は一時期ネタで入れてたけど」

エリアル「そうですね。それではこの辺で」

ウィンダ「次回予告です」

次回

殉教者「主、復活の時です!!」

遊威「やっぱりか……」

自分の主をだしてきた殉教者

殉教者「サレンダーすれば、お前だけ助けてやる」

遊威「後悔しろ!!」

遊威は勝てるのか？

エリアル「私達のマスターでいてくれますか？」

遊威「無理」

その言葉の意味は？

次回、『遊威対殉教者 限界突破と混沌の力』

遊威対殉教者 限界突破と混沌の力

殉教者「さあ、我が力のまえに恐れ平伏すがいい！」

遊威「手加減なんかしない。全力をだしてお互いに悔いの無い闘いにしよう」

『デュエル!!』

殉教者「先行はもらう、ドロー。我はカードを4枚セットしてエンドフェイズだ」

殉教者

LP 4000

手札 2枚

場

魔法・罠 4枚

遊威（リバーズカードが4枚……そのうち3枚はブラフ）

遊威「ドロークカード、俺はシュレッダーを召喚」

シュレッダー

ATK 1600
DEF 1000

遊威「更に、カードを3枚セットしてバトルフェイズ。シュレッダーで直接攻撃！」

殉教者「畏発動『くず鉄のかかし』。このカードは相手の攻撃を防ぎ、その後セットされる」

遊威（ちっ、『くず鉄のかかし』か……………また厄介なカードだ）

遊威「バトルフェイズを終了してエンドだ」

遊威

LP 4000

手札 2枚

場 モンスター

シュレッダー

魔法・罠 3枚

ウィンダ「またセットされるなんてずるいです」

エリアル「でも、まだご主人様のライフは無傷。このままだったら……………」

殉教者「ふふふ、今のターンで我を倒せなかったことを後悔するが
いい。ドロー！」

遊威（来るか！）

殉教者「罨発動『最終突撃命令』、『龍の逆鱗』、『バベル・タワ
ー』。そして3枚の罨をリリースする。いでよ！『神炎皇ウリア』
！」

ウリア「グワァァア！！」

神炎皇ウリア

ATK 0

DEF 0

エアリアル「攻撃力が0？」

遊威「いや、3000だ」

殉教者「効果はもう知っていたのか？なら話しは早い。ウリアは墓
地にある永続罨の数×1000だ」

神炎皇ウリア

ATK 3000

DEF 3000

殉教者「そして1ターンに1度、相手フィールドにセットしてある魔法・罠を1枚破壊する。『サポート・ディストラクション！』」

遊威

魔法・罠 セット↓破壊

遊威「くっ！」

殉教者「そして我は手札から『天よりの宝札』を発動」

ウィンダ「あれは！手札が6枚になるようにドロウするカードですよ！」

遊威「そっちの効果か」

殉教者「ふははは、みるがいい！我は手札から『凡骨の意地』『カード・トレーダー』『エクトプラズマー』を発動！」

遊威（『魔法効果の矢』があれば！）

殉教者「我は3枚の永続魔法をリリース。顕れろ、『降雷皇ハモン』！」

ハモン「キシヤア！」

降雷皇ハモン

ATK	4000
DEF	4000

エリアル「攻撃力が3000と4000のモンスター……」

ウィンダ「主様がピンチです」

遊威（あいつの手札はあと2枚。おそらく……）

殉教者「我は魔法カード『幻魔の殉教者』を発動。そして殉教者トークンをリリースする。主、復活の時です！！『幻魔皇ラビエル』様！！」

ラビエル「グルウウア！」

幻魔皇ラビエル

ATK 4000

DEF 4000

遊威（1ターンで三幻魔をだすとは……）

殉教者「おお！我が主、お久しぶりにございます」

ラビエル「ふむ、よくやったぞ」

殉教者「ありがたきお言葉」

ラビエル「あの精霊、エナジーが濃いな。あれだけあれば我ぐらいは復活できるだろう」

殉教者「我が主よ、そのためにもエナジーを吸収するお力をお貸し下さい」

ラビエル「良いだろう。ウリア、ハモン」

ウリア「承知」

ハモン「了解」

遊威「おいおい……」

殉教者「我はフィールドの『神炎皇ウリア』『降雷皇ハモン』『幻魔皇ラビエル』をゲームから除外。御力を！『混沌幻魔アーミタイル』！！！」

混沌幻魔アーミタイル

ATK 0

DEF 0

アーミタイル「アアアアア！！！！」

エリアル「ひっ！」

ウィンダ「嫌な感じです！」

遊威「混沌幻魔まで！」

殉教者「バトル！アーミタイル様で、攻撃」

エリアル「でも、攻撃力は0ですよ」

殉教者「アーミタイル様の効果！バトルフェイズ中、攻撃力は10000ポイントアップ！『虚無幻影羅生門』！！」

ウィンダ「い、10000ポイント！？」

エリアル「ご主人様！」

遊威「速攻魔法発動『リミッター解除』」

シュレッダー

ATK 3200

遊威「更にもう1枚『リミッター解除』発動！」

シュレッダー

ATK 6400

殉教者「無駄だ！！」

シュレッダー 破壊

シュレッダー を破壊した黒い霧が遊威を包む

遊威「くっ、ぐわあああ!!」

エリアル「ご主人様!!」

ウィンダ「主様!!」

遊威
LP 600

遊威「はあ、はあ」

ドサッ

遊威（くっ、久しぶりにとんでもないダメージを喰らった。にしても、なんつー、痛みだよ）

アーミタイル「痛いかな？ 苦しいかな？」

遊威「……………はっ」

アーミタイル「お前にその痛みを与えているのはその精霊だぞ？」

遊威「だったらなんだ？」

殉教者「サレンダーすればお前だけは見逃してやる、ということだ」

エリアル・ウィンダ『！！』

アーミタイル「お前程度のエナジーが無くとも我が復活できる量は、その精霊達にはあるようだからな」

遊威「ふっ、俺程度か……………まあ……………」

エリアル「……………」（こくっ）

ウィンダ「……………」（こくっ）

エリアル「ご主人様…」

ウィンダ「私達を…」

遊威「断るさ」

エリアル「えっ？」

ウィンダ「どうして？」

アーミタイル「ほう？」

遊威「俺はまだ、負けてない。ライフもあるしカードもある。まだ、なんにも終わってねえよ」

エリアル「ご主人様……」

ウィンダ「主様……」

殉教者「ならばラストターンを楽しむがいい。エンドフェイズ」

殉教者

LP 4000

場 モンスター

混沌幻魔アーミタイル

遊威「ああ。ラストターンさ。お前に次は回ってこない。俺のターン、ドロー!!」

遊威

遊威「なあ？デステイニードローって信じるか？」

殉教者「なんだ突然」

遊威「今引いたカードだ。おれは『未来融合―フューチャーフュージョン―』を発動！デッキから『サイバードラゴン・ツヴァイ』『古代の歯車』を3枚ずつ、『サイバー・ヴァリー』を2枚、『サイバー・ダーク・ホーン』『サイバー・ダーク・エッジ』『サイバー・ダーク・キール』『サイバー・ドラゴン』を墓地に送る」

アーミタイル「『未来融合』か。だがその効果で召喚されるのは2ターン後だ。このターンには召喚できない」

殉教者「2ターンも耐えられると思っているのか？」

遊威「更に！『オーバーロードフュージョン』を発動！！」

殉教者「!?!」

アーミタイル「そのカードは！」

遊威「俺は墓地に眠る13体の機械族モンスターをゲームから除外！」

殉教者「13体!?!」

遊威「数多の機械達よ、その力を一つに最大の脅威をしめせ！来い、『キメラテック・オーバー・ドラゴン』」

キメラテック『ギャアアアア!!!!!!』

キメラテック・オーバー・ドラゴン

ATK 10400

DEF 10400

エリアル「攻撃力10400…」

ウィンダ「すごい、です！」

遊威「バトル！キメラテック・オーバー・ドラゴンで混沌幻魔アーミタイルに攻撃『エターナルバースト』！！」

殉教者「罨発動『くず鉄のかかし』！相手の攻撃を無効にし、再びセットされる」

エリアル「そうだった」

ウィンダ「あのカードをなんとかしないと……」

殉教者「それにアーミタイル様は戦闘では破壊されん！私の勝ちだ！！」

遊威「何言ってるんだ、まだ俺のバトルフェイズは終了して無いぜ？」

殉教者「どういうことだ！？」

遊威「『キメラテック・オーバー・ドラゴン』は融合素材に使用したモンスターの数だけ攻撃が出来るんだ。だから俺はあと12回攻撃が残ってる」

アーミタイル「何だと!？」

遊威「殉教者、アーミタイル。エリアルとウィンダをお前達の糧としようとした事を後悔しろ!! 『トウエルブ・エターナルフルバースト』!！」

アーミタイル「ぐわああ!」

殉教者「こんなはずではああ!」

殉教者

LP 0

遊威「俺の力が無くても、か。俺の力なら、三幻魔全員を復活させられるぜ」

勝者 蒼月 遊威

遊威「ふう」

パラパラ

殉教者のデッキの一番上のカードがおちる

遊威……

ぴらっ

『炸裂装甲』

遊威（結構危なかったな……）

エリアル「ご主人様！大丈夫ですか！」

ウィンダ「主様！怪我とかしてません！」

遊威「大丈夫大丈夫。それに怪我もしてない」

ウィンダ「よかったです」

遊威「心配かけたね、二人とも」

エリアル「……………」

遊威「どうした、エリアル？」

エリアル「…………ご主人様、闇のゲームは危険な勝負です。負けたら、命だってどうなるかわかりません。それでも、私達のマスターになつてくれますか？」

ウィンダ「エリアルちゃん……………」

遊威「無理」

エリアル「…………っ」

遊威「だって俺はもう二人のマスターなんだから、今からなるのは無理だよ」

エリアル「えっ？」

ウィンダ「というと……」

遊威「もちろん、俺は二人のマスターだよ♪」

エリアル「ご主人様…」

ウィンダ「主様……」

エリアル・ウィンダ『よろしくお願いします!!』

だきっ

遊威「おっと」

遊威対殉教者 限界突破と混沌の力（後書き）

エリアル「今回の」

ウィンダ「最強カードは」

『キメラテック・オーバードラゴン』

遊威「『サイバードラゴン』と機械族何体でもと融合可能な融合モンスターだ。今の時代じゃあんまり使ってるやつはいないだろうけど、融合素材一体につき800ポイント上昇だ。昔はロマンを求めて110枚で融合させたりなんかしたっけなあ」

エリアル「110枚融合って……」

ウィンダ「『アーミタイル』が選ばれなかったのって、やっぱりあれなんです？」

遊威「もちろん。OCGの……っていうか普通の場合は『自分のターンのみ10000ポイント』だからな。確かアニメの方の効果と同じだったと思う」

ウィンダ「今のところ主様が使ったカードしか紹介してないから、

『主様の使った最強カード』って思われるかもしれないです」

遊威「そういえばそうだな。まあ次は俺以外の奴のカードになるかもしれないから、楽しみに待っててくれよ」

エリアル「それじゃあ次回予告」

双麻「ユーイ、明日お前に話さなきゃいけないことがある」

遊威「話したい、の間違いだろ？」

双麻の話したいことは？

双麻「デュエルしようぜ」

遊威「……何かあるな」

双麻「秘策がな」

それは新しい進化

双麻 「2体のモンスターで……」

次回、『新しい進化の形』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0224w/>

リチュアとガスタと氷結界と

2011年10月11日01時49分発行